

## 地域イベントへの協力

目黒川みんなのイルミネーション実行委員会と品川区による今年の「目黒川みんなのイルミネーション2023」は、11月10日(金)から2024年1月8日(祝・月)まで開催します。皆様の心に灯りをとめずとともに、地域のご家庭や飲食店からいただいた廃食油をリサイクルし、「エネルギーの地産地消」を実現し、街への愛着と誇りを育む冬の風物詩となるよう、引き続き実行委員会に参加し活動してまいります。

【目黒川みんなのイルミネーションに関するお問合せ】  
目黒川みんなのイルミネーション実行委員会・事務局  
URL: <http://www.minna-no-illumi.com/>

目黒川に咲かせる“冬の桜”  
「目黒川みんなのイルミネーション2023」



## 大崎 NEWS

### 「目黒川夢まつり 2023夏」を開催しました

(一社)大崎エリアマネジメント主催による「目黒川夢まつり 2023夏」を2023年8月25日(金)・26日(土)の2日間、五反田ふれあい水辺広場にて開催しました。日野学園美術部制作による「夏祭り」をテーマにしたプロジェクションマッピングを広場の対岸に投影し、キッチンカーやマルシェが出店したナイトマーケットも賑わいを見せ、来場者に夏の夜を楽しんでいただきました。



### 「ours holiday market」を11月12日(日)に開催決定

地域交流施設CAFE&HALL ours(北品川5-7-2)にて、「大崎で休日の楽しみを見つけよう!」をコンセプトに「ours holiday market」を11月12日(日)11:00~18:00に開催します。食のワークショップをはじめ、食品や雑貨など様々なお店も出店しますので、ぜひご来場ください。



## 編集後記

今年の夏は例年以上に暑い日が続き、外に出る事も億劫になる日々が続きました。暦ではすでに【秋】ですが、やっと秋を感じさせる季節になっているのではないでしょうか。皆様、体調には十分お気をつけください。2023年の秋もイベントが増えて参ります。しながわ夢さん橋2023やみんなのイルミネーションなど、皆さまと一緒に大崎・五反田地区を盛り上げて参ります。当会報誌では、今後、大崎・五反田地区に関わる皆さまにインタビューを行い、大崎・五反田地区への熱い思いを紹介していきたいと思っております。個別に記事掲載依頼をお願いすることもあるかと思いますが、ぜひご協力をお願いいたします。また、我こそは!という方がいらっしやいましたら、事務局までご連絡ください。(大崎駅周辺まち運営協議会事務局一同)

第16号

# おおさき ま・ち・う・ん



## 大崎駅周辺まち運営協議会 会報

大崎駅周辺まち運営協議会は、新たな魅力づけや付加価値の向上を図るため、「まち運営プラン」に基づくエリアマネジメント活動を展開します。

### 「大崎駅周辺まち運営協議会2023年定時総会」開催

2023年7月20日、「大崎駅周辺まち運営協議会2023年定時総会」が開催され、2022年度活動報告及び決算書、2023年度活動計画及び予算書が決議、承認されました。また、監事吉倉弘史氏に代わり、大平隆昌氏が選任されました。



2023年定時総会 (於: ニューオータニイン東京)



懇親会 (於: ニューオータニイン東京)

### 2023年役員

(敬称略)



会長挨拶

会 長	稲村 純三 (株式会社明電舎特別顧問)
副会長	渡辺 佳英 (大崎電気工業株式会社代表取締役会長)
監 事	大平 隆昌 (大崎再開発ビル株式会社総務部担当部長) 山口 久行
顧 問	桑村 正敏 (品川区副区長)
まち運営委員会委員長	山田 一弘 (株式会社明電舎執行役員ガバナンス本部長)
しながわ夢さん橋実行委員長	綱嶋 信一

### 2023年度の活動計画 (予算額)

今年度の事業計画は、総会及び懇親会、まち運営委員会 (年4回程度) 等の会議の開催 (500千円)、 「しながわ夢さん橋」等イベントの実施 (2,500千円)、花植えなどその他活動費 (500千円)、会員拡大や活動PRのための情報発信 (80千円) を予定しており、以上の支出予算額としては予備費 (291千円) を含み合計で3,871千円を計上しています。

これら支出を賄うための収入としては、会員の皆様の年会費 (3,084千円)、総会懇親会参加費 (200千円)、繰越金 (587千円) 等です。

なお、基金 (旧東五反田まちづくり推進協議会より) に基づく会計として目黒川イルミネーションイベントへの協賛金 (330千円) の支出を別途予定しています。

おおさきま・ち・う・ん

大崎駅周辺まち運営協議会 会報  
第16号 / 2023年9月発行

■発行 大崎駅周辺まち運営協議会 (<https://osaki-machiun.tokyo/>)   
■編集(事務局) 一般社団法人 大崎エリアマネジメント  
WEST オフィス: TEL.03-5719-0800 EAST オフィス: TEL.03-6421-7118  
■編集協力 株式会社URリンケージ TEL.03-6803-6183



## 協議会の活動報告

協議会の事業計画に従って必要な事業を実施するため「まち運営委員会」を設置しています

2023年度事業計画に基づき、まち運営委員会を4回開催し、まち運営プランの実現、安全安心まちづくり、地域課題の共有等に取り組んでまいります。本年度1回目（通算36回目）の委員会は下表のとおり行われました。

主な議題		
地域の将来像	安全安心まちづくり	公開空地・公共空間の活用
・まちづくり進捗状況 ・品川区まちづくりマスタープランの改定について	・大崎駅/五反田駅周辺帰宅困難者対策協議会活動状況共有 ・緊急連絡先リスト更新	・街区イベントの情報共有 ・「お花いっぱい大崎」花植替えのお知らせ ・さくらのライトアップ、みんなの屋台村実施報告

### 地域の将来像

◎令和5年3月に改定された品川区まちづくりマスタープランについて報告し、大崎駅周辺まち運営プランの見直しのポイントについて紹介しました。

### 安全安心まちづくり

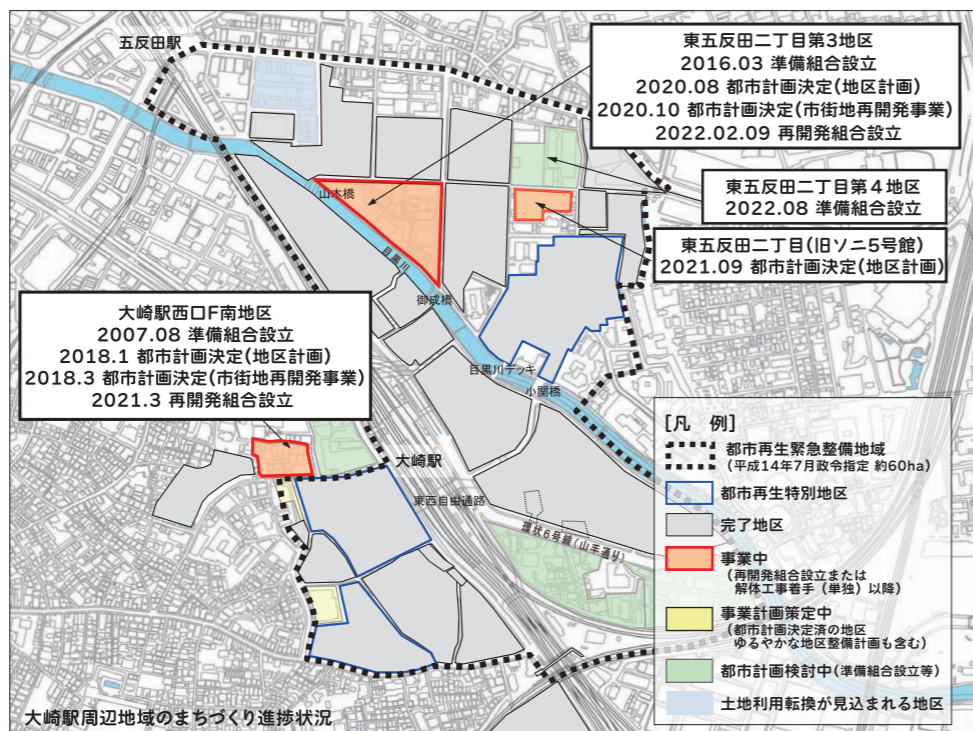
◎大崎駅/五反田駅周辺帰宅困難者対策協議会活動状況について、情報共有しました。

◎大崎駅周辺緊急連絡先リストを更新し、情報共有しました。

### 公開空地・公共空間の活用

◎街区イベントについて、情報共有しました。

◎五反田ふれあい水辺広場における、さくらのライトアップの実施報告、みんなの屋台村(キッチンカー)の実施状況について情報共有しました。



協議会の事業計画に従って必要なイベント等を実施するため「しながわ夢さん橋実行委員会」を設置しています

## しながわ夢さん橋 実行委員会からの お知らせ

### 第36回「しながわ夢さん橋 2023」を開催します

今年で36回目の開催を迎える『しながわ夢さん橋』は、地元の商店会や住民、企業による手作りの地域イベントです。地元による、地元のためのイベント作りの想いは今も変わりません。地元の商店会や住民、企業が集まって手作りで運営されています。

#### ◆開催概要

第36回 しながわ夢さん橋 2023

日 時：2023年10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)  
10:00~16:00

場 所：大崎駅東西自由通路「夢さん橋」デッキ周辺

#### ◆プレイベント「パワードリームミュージックフェスタ」

日 時：2023年10月1日(日) 開場：13:00~

場 所：ゲートシティホール



### 「お花いっぱい大崎」夏の花植替えを開催しました

大崎のまちを花でいっぱいに、と願って行われる恒例の「お花いっぱい大崎」活動が、去る6月3日(土)に実施されました。大崎にお住まいの方や、地元企業の方々等の参加による花植え作業が、一斉に行われました。次回は、12月初旬を予定しています。ふるってご応募ください。当日参加でもOKです。

年2回、大崎駅東口(御成橋公園)エリアと西口(ひふみ公園)エリアで手分けして行われるこの花植え活動は、周辺企業の皆様や個人の方々のご協力で運営しています。サポートいただく方々も含めて、広く参加者を募集中です！詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】一般社団法人 大崎エリアマネジメント  
WESTオフィス：TEL.03-5719-0800



参加団体・企業の方々 — 多くの企業の皆様が参加しています —

犬山デザイン製作所、大崎駅西口商店会、(株)明電舎、(株)バルカー、大崎駅西口郵便局、日鉄エンジニアリング(株)  
(株)モスフードサービス、(株)デュアルタップ、(株)ブレンコア、セガサミーグループ、コベルコ建機(株)  
東芝テック(株)、ダッソーシステムズ(株) 他



### Interview

#### Vol.1 株式会社明電舎 総務・法務部 渉外担当部長 森田 宏様



まちの発展と共に、ものづくり120年の歴史を持つ明電舎さんに大崎のまちについてお聞きしました。

目黒川の水運の利便性などの魅力によって工場が大崎周辺に集まってきた明治時代終わりの1901年(明治34年)に大崎駅が開業(山手線では9番目)し、その後1913年(大正2年)に当社創立者の重宗芳水が中央区入舟町から工場拡張を兼ねて大崎駅西口駅前に会社を移転させました。開業当時の写真を見ると、周辺は田んぼだらけで、他に建物はなにもない景色でした。大型回転機を中心に製造してきた大崎工場は1970年代末に群馬県の太田工場に転出しましたが、その後も「古い工場」は事務所や倉庫、一部の製品の製造拠点としてそのまま活用されておりました。古くから大崎

周辺をご存じの方には、当時の工場と周辺のごちゃごちゃした風情を懐かしむ方もいらっしゃるのではないでしょうか？2007年、「古い工場」で占められていた西口駅前が再開発事業でThinkParkとして生まれ変わり、今では多数の路線が乗り入れる大崎駅や大崎駅西口バスターミナルによる輸送力・アクセスの良さと相まって、新たな大崎のまちの発展に寄与しております。歴史ある「ものづくりのまち」の風情を感じる街並みと新しい街との共存ができるような、オンリーワンのまちづくりを目指し、これからも頑張っていきたいと思っています。